

みなさん、こんにちは。

記者の皆様には、お忙しい中、本日の定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。

会見項目の発表の前に、各地で被害のありました台風の被害状況について少しお話させていただきます。

先月21日月曜日の夕方から夜にかけて最接近いたしました台風25号におきましては、千葉県や神奈川県などで甚大な被害がありました。牛久市におきましても人的被害はなかったものの、大雨による土砂崩れや床下浸水に加え、市内を流れる河川の越水や冠水による道路の通行止めなどが発生いたしました。

昨日におきましては台風26号の被害も心配されましたが大きな影響もなく一安心したところでございます。

今後とも、市民の生命と財産を守るため、防災に取り組んでまいります。

さて、本日の会見では、私から4つの項目について発表させていただきます。

初めに、親子特区!!うしくフェスの開催についてです。記者会見資料1の2ページをご覧ください。

牛久市では、昨年10月、「親子がともに育ち合えるまち」を目指し、「親子特区!!うしく」を宣言いたしました。宣言から1年を迎える節目に開催するのが、今回の「親子特区!!うしくフェス」です。このフェスについて、大きく3つのポイントに分けてご説明いたします。

資料3ページをご覧ください。

このフェスは、「親子特区!!うしく」というブランドメッセージを親子で実際に体感していただくため、大型親子イベントとして初開催いたします。牛久市ならではの地域資源である牛久シャトーを舞台に、親子がともに楽しめる思い出の場を創出することで、牛久市の新たな魅力の発信につなげてまいります。また、今回のフェスでは、「見る・食べる・遊ぶ」を軸に、ステージ、飲食、体験、仮装行列、育児相談、フォトコンテストを一体的に展開し、より充実したイベントとして親子でお楽しみいただけます。

資料６ページをご覧ください。

開催日１０月３１日はハロウィンの日であることにちなんで、牛久シャトー内を仮装して歩く「仮装行列コーナー」を実施いたします。本館前での記念撮影や、合言葉によるプレゼントも予定しており、ハロウィンならではの思い出づくりを楽しんでいただけます。

さらに、無料育児相談コーナー「たよってさん」として、授乳スペース、おむつ替えスペース、育児相談の場を設け、イベントを楽しむだけでなく、日頃の子育てを少し相談できる場としてもご利用いただけます。

資料７ページをご覧ください。

先日、９月２４日に包括連携協定を締結いたしました株式会社オーラルケアとの連携企画第１弾として、「おやことくち」プロジェクトのフォトコンテストを実施しており、コンテストに応募いただいた作品のうち、受賞作品をフェス当日に会場内で展示します。

フォトコンテストは『親子や家族の「おくち」にまつわる楽しい瞬間』をテーマとし、１０月１８日日曜日まで応募を受け付けております。受賞者には、親子で体験できる「親子で体験 オーラルケアセット」や、牛久シャトー産ワインや商品券をプレゼントする予定ですので、ぜひご応募ください。

このフェスは、市が独自に企画したものではなく、市内の園、団体、企業、地域の皆様から声を聞き、その声がひとつになった親子のためのイベントです。

これぞ「親子特区!!うしく」だと、胸を張ってお届けします。当日は、親子で見て、食べて、遊んで、たくさんの思い出を残してください。

ぜひ、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

次に、牛久シャトービールフェスティバル2026の開催についてです。記者会見資料2の1ページをご覧ください。

この度、牛久シャトーの新たな魅力を発信することを目的とした「牛久シャトービールフェスティバル2026」を初開催いたします。
にーまるにーろく

牛久シャトーといえばワインのイメージが強いと思いますが、実は、茨城県内第1号のクラフトビール工場としての歴史を有しており、今回のイベントでは、「この秋、牛久シャトーはビール色!」をキャッチコピーとして、牛久シャトーのビールの歴史を感じることができます。

牛久シャトーを舞台に、茨城県内のブルワリーや地域の食を一堂に集め、ビールをきっかけとして多くの人が集まり、交流することで、牛久シャトーを中心とした地域の賑わいを創出してまいります。

また、イベントには、茨城県内のブルワリー14事業者が集結し、それぞれの個性豊かなクラフトビールをお楽しみいただきます。

さらに、ビールとともに、県内イベントで大人気の五浦^{いづら}ハムをはじめとした、ビールに合うフードメニューも多数ご用意しております。

ビールフェスティバルの開催は、今回限りとせずに、今後も継続して開催し、牛久市の新たな風物詩として地域に根差したイベントのひとつになるよう努めてまいります。

ご家族やご友人と一緒に、ぜひ牛久シャトーへお越しいただき、ビール色に染まった牛久シャトーをお楽しみいただければ幸いです。多くの方のご来場をお待ちしております。

なお、この後、その他の項目にて発表させていただきますが、「牛久の魅力を発信しよう！夜空に彩るランタン祭り」を同日開催いたしますので、併せてお楽しみください。

次に、第50回牛久市民文化祭についてです。記者会見資料3の2ページをご覧ください。

「みて・きいて・かんじて…いつも新たな感動を！」をキャッチフレーズに、10月8日 木曜日から11月3日 火曜日（祝日）まで、牛久市中央生涯学習センターを会場として開催いたします。

「牛久市民文化祭」は、牛久市民の皆様をはじめ、本市を拠点として活動いただいている団体の皆様による、文化芸術活動の成果を発表していただく場であり、一年の集大成を多くの方々に見ていただくことができる貴重な機会でございます。

「ステージ発表の部」では合唱、器楽、洋舞、邦楽の団体発表を文化ホールにて開催し、「展示の部」では絵画や手芸・写真などの個人・団体作品展示や小中学生の絵画・書写作品展示などを大講座室・展示ホールで開催いたします。また、囲碁大会・茶道などを体験することができる「各種大会・イベントの部」も開催し、様々な芸術発表が行われる予定です。

ご来場いただく皆様には、様々なジャンルの文化芸術に触れていただき、家族やご友人と一緒に楽しむことはもちろん、

おひとりでご来場いただいても、文化芸術の秋を感じていただくことができます。ぜひ多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

次に、ジョージア国立フォークアンサンブル「バシアニ」公演の開催についてです。記者会見資料４の２ページをご覧ください。

牛久市市制施行４０周年およびテラヴィ市との姉妹都市協定締結を記念し、ジョージア国立フォークアンサンブル「バシアニ」公演を開催いたします。

公演で披露されるジョージアのポリフォニーは、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている唯一無二の音楽であり、その中でも「バシアニ」はジョージア国を代表する合唱団としてジョージアの伝統的な多声音楽の継承と発展に取り組む国立フォークアンサンブルです。

今回の公演は、本年３月にジョージア大使館より、１２月に東京で行われるジョージア国を代表する合唱団の公演に合わせ、牛久市での公演について開催の打診がありました。

当時、本市といたしましても、テラヴィ市との姉妹都市協定の締結を検討しておりましたこと、また、市制施行４０周年の記念の年であることから、記念イベントとして開催することを決定しました。

日時は、令和８年１２月１５日火曜日、１９時から牛久市中央生涯学習センター文化ホールにて開催いたします。入場料金は、無料です。

公演を行うジョージア国立フォークアンサンブル「バシアニ」は、国を代表する合唱団であり、ジョージアの山々に生まれ、何世紀にもわたり受け継がれてきた多声合唱、ポリフォニーを皆様にお届けします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

最後に、牛久市市制施行40周年記念「ベートーヴェン第九 i n 牛久」～市民と音楽家が創る歓喜のステージ～の開催についてです。記者会見資料5の2ページをご覧ください。

牛久市市制施行40周年の年を華やかに締めくくるイベントとして「ベートーヴェン第九 i n 牛久」コンサートを開催いたします。

牛久市における第九コンサートは、今回で3回目の開催となります。前回の開催からは実に13年ぶりのことであり、40周年という大きな節目に開催できることを大変喜ばしく感じております。

今回のコンサートでは、牛久市にゆかりのある音楽家で結成された「MUSE オーケストラうしく」の素晴らしい演奏、そして実力派のソリストの皆様、そして公募により集まった約100名の市民合唱団が、年末の風物詩として親しまれているベートーヴェン交響曲第9番「歓喜の歌」をお届けいたします。

日時は、令和8年12月19日土曜日、14時から牛久市中央生涯学習センター文化ホールにて開催いたします。

席は全席自由で、チケット料金、販売窓口は記者会見資料の3ページをご覧ください。

主催は牛久市、牛久市教育委員会、うしく音楽家協会の三者共催です。

合唱に参加する第九 i n 市民合唱団は、計20回もの練習を重ねてコンサートに臨みます。厳しい練習を乗り越え、それぞれの「歓喜の歌」を歌い上げる市民合唱団の姿は、大きな感動を生むことでしょう。中には、昭和62年に初開催した第九コンサートに参加されたベテランの方や、今回初めて第九に挑戦される方など様々で、幅広い年代の皆様がひとつとなります。

世代を超えて、まさに牛久市が一体となって創り上げるこの「ベートーヴェン第九 in 牛久」は、牛久市市制施行40周年の締めくくりにふさわしい、感動と一体感に包まれる素晴らしいステージとなると確信しております。

市民の皆様、そして近隣市町村の皆様には、ぜひ会場に足をお運びいただき、生のオーケストラと合唱が織りなす壮大なハーモニーをご体感いただきたいと思います。

私からの発表は以上です。